

# 01 背景と目的

- 背景と目的
- 対象区域
- 計画の位置づけ

# 1. 背景と目的

## 背景と目的

大田区では、変化し続ける社会に対応したまちづくりを推進し、蒲田が将来にわたって持続的に発展していくため、まちの将来像や目標、方針を定める「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」を令和4年4月に改定するとともに、JR・東急蒲田駅を中心とする地区の中長期的な視点を踏まえた基盤施設の整備方針として「蒲田駅周辺地区基盤整備方針」を同年10月に策定しました。この方針をもとに、関係者等との協議・調整により、中・長期的な基盤施設の整備の方向性が具体化しつつあります。

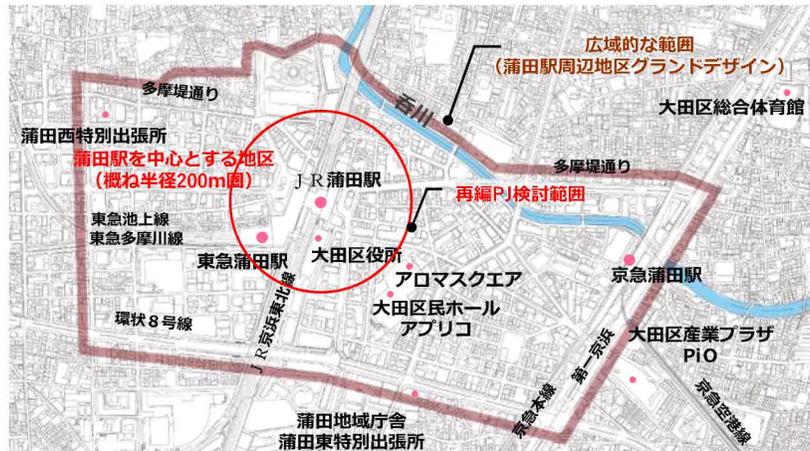
新空港線第一期整備事業については、令和7年8月1日に国土交通大臣に羽田エアポートライン(株)及び東急電鉄(株)の連名で提出した速達性向上計画が、10月3日に認定されました。これにより、本事業の許可が得られたこととなります。

さらに、新型コロナウイルス感染症の流行を経たまちの賑わいの回復、ウォークラブルなまちづくりや都市の個性に着目したまちづくりの推進、激化する自然災害への対応など、社会的潮流の変化も見られます。

以上を踏まえ、令和20年代前半に開業が予定されている新空港線を見据えた駅周辺の交通基盤の考え方や、交通とまちづくりが連携した基盤施設の整備指針を示すため、平成25年に策定した「蒲田駅周辺再編プロジェクト」(以下、「再編PJ」という。)を改定します。

## 対象区域

駅舎・駅ビル、駅前広場、駅周辺街区、及び主要道路等の再編を検討するため、再編PJの対象区域は、蒲田駅を中心とする概ね半径200m圏内を基本とします。ただし、将来の交通ネットワークなどについては、対象区域だけではなく、蒲田駅周辺地区グランドデザインと連動する周辺部を含めた広域的な視点も踏まえた上で検討します。



## 計画の位置づけ

再編PJでは、「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」に即し、主に蒲田駅を中心とする地区について、交通とまちづくりが連携した基盤施設の整備指針と実現に向けた手順・方策(事業手法)などを整理します。

